

## 次期総合計画タウンミーティング（名東区） 開催報告

1. 日 時 : 平成 30 年 11 月 10 日（土） 14:00～16:10
2. 場 所 : 名東区役所講堂
3. 出席者 : 河村市長、三宅名東区長、総務局松雄企画調整監、総務局難波企画部長、  
総務局鈴木企画課長
4. コーディネーター: 加藤 栄司氏（（一社）地域問題研究所調査研究部長）
5. 参加者 : 62 名
6. プログラム
  - (1) 開会
  - (2) 市長あいさつ
  - (3) 名古屋市次期総合計画中間案の説明（映像）
  - (4) ご意見・ご提案の聴取
  - (5) 閉会

### 7. 発言の記録

#### ○市長あいさつ

##### 【市長】

- ・それでは、ようおいでいただきましてありがとうございます。
- ・これ、中間案と書いてありますように、割と基本的なナショナルミニマムというか、そういうものが書いてありますんで、皆さんそう気にせずに、わしが市長だったらこういうことやるがやということがあったら、どうぞ遠慮なしにそう言ってちょうだい。
- ・職員に怒られるといかんで、それも関係ないですから、ぜひいろいろおっしゃってくださいということと、名東区でございますので、この間、3 年ぐらい前だったかな、名古屋で一番住みよいまち、ナンバーワン、これ藤が丘だったけどたしか。最近はちょっと抜かれたかね、覚王山か池下かしらんと思いますけど、いずれにせよすぐこの辺の近くだもんだで、結構なことでございますわ、これね。ええとこだがねこれは本当に。
- ・それから、特色があるのは、転居がというか、今話しておりましたけど、お子さんがおるぐらいのご家庭が、1 年から 6 年まで全部の間にかわってかれるということで、前、選挙関係の人が言っていましたけど、4 年ごとで大体つながりましたけど、3 分の 1 ぐらいかわると言っていましたね、4 年ごとに。今区長が言っとったけど、1 年だと大体 10%ちょっと弱じゃないかと、転居される方がということでございます。
- ・その辺がちょっと特色があるかということでございますけど、先ほど言いましたようにどうぞ遠慮なされずに、いろいろ言ってちょ。市長、ろくでもないではよやめろとかでも結構でございますので、遠慮せずをお願いしようと思います。
- ・今日はおいでいただきましてサンキューベリーマッチ。ありがとうございます。

## ○ご意見・ご提案の聴取

### 【コーディネーター】

- ・皆さん、改めましてこんにちは。進行させていただきます地域問題研究所の加藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・では、これから早速始めさせていただきたいと思います。座らせていただきます。
- ・これより、名古屋市次期総合計画中間案への皆様のご意見・ご提案を頂戴したいと思います。
- ・その前に、皆さんにお手元の資料をご覧になっていただきたいと思います。今映像を見ていただきましたが、お手元の資料で「NAGOYA をつくろう!」という資料がございます。今映像で流された話のあらましがこの冊子に書いてございます。これをお手元に置いていただきながら、ほかの方のご意見、ご質問をお聞きになられると非常にわかりやすいと思いますし、また、これからご意見、ご質問を受けるに際しましても、特にこの5ページ、6ページあたりを中心にごらんいただきながら、5つある都市像のどこに当てはまるかを意識してご発言、ご意見いただけるとありがたいと思います。
- ・具体的に進める前に、今日の進め方についてご説明しておきたいと思います。
- ・できるだけ幅広くご意見をいただくために、3つのテーマごとにパートを分けてご意見を伺いたいと思っております。先ほどご紹介いただきました「NAGOYA をつくろう!」という冊子の5ページ、6ページをお開きいただきたいと思います。ここには、先ほど映像でもございましたけれども、名古屋市が実現を目指す将来のまちの姿が5つの都市像として示されております。
- ・ご意見を伺う際、まずは、都市像1と2、5ページのところですね、これについて数名の方々からご意見を伺い、その後に市長を始めとした市の職員がまとめてコメントさせていただきます。そして同様の流れで2つ目のテーマ、6ページになりますが、都市像3・4に関しましてご意見、ご提案いただきまして、そして、また市がコメントし、同じような流れで3つ目のテーマ、都市像5、あとその他、次期総合計画中間案全般についてご意見を頂戴するといった流れで進めていきたいと思います。
- ・それから、皆様方にご発言いただくに際して、これから5つほどお願いしたいことがございます。
- ・1点目は、先ほど冊子をごらんになっていただいたとおり、今日の集まりは次期総合計画の中間案に対するご意見を頂戴するということが目的ですので、それを意識していただきたいということが1点目のお願いです。
- ・2点目のお願いは、まず挙手をお願いします。私が指名した方に係の者がマイクをお持ちいたしますので、会場が広うございますので、マイクを通じてはっきりとご発言いただきたいと思います。それが2点目のお願いです。
- ・3点目のお願いは、その際、お名前とお住まいをおっしゃってからご発言をお願いしたいと思います。お住まいにつきましては、区あるいは学区とかを言っていただければよろしいかと思います。詳細な住所までは必要ございません。それが3点目のお願いです。
- ・4点目のお願いは、ご発言が終わりましたら、マイクを係の者にお返しく下さいというお願いです。

- ・それから5つ目のお願いですが、できるだけさまざまな方からご意見、ご質問いただきたいと考えておりますので、お一人様できれば3分以内で簡潔にご発言いただきたいと思います。何巡かすると思いますから、1回目の発言で何か発言し切れなかったところがありましたら、もし最後のほうに時間がありましたら2巡目の発言ということもあるかもしれません。ですので、1回あたりの発言はできるだけテンポよく、しっかり時間は測ることまではしませんが、大体皆さんの感覚で結構でございますけれども、あまりにも長くなったらちょっと私からお知らせすることがあると思いますが、そのときはご容赦いただきたいと思います。
- ・それでは、これより早速進めていきたいと思いますが、再度この冊子の5ページ目をご覧ください。都市像1「人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち」。それから都市像2ですね、「安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち」。高齢者、障害者などに関する都市像、それから子どものことに関する都市像でございますけど、これに関するご意見、ご質問からお受け付けしたいと思います。
- ・それでは、どなたからでも結構でございますが、ご発言お願いいたします。挙手お願いします。
- ・最初は勇氣要りますよね、この大勢いる場で手を挙げるのは。いかがでしょうか。どなたか口火を切っていただけるとありがたいです。
- ・マイクを今お持ちします。

#### 【1人目（守山区）】

- ・なかなか時間がとれなくて、やっとこちらに参りました。
- ・目指す市民像で人権ということを最初に言っていただいて、すごくうれしかったし、力強く思いました。
- ・孫ができて、この年でやっと孫ができて、本当に子育てのしやすいまちだなと思うことは、バスなんかに乗っていますと、子どもを前は2人連れまで無料だったけど今4人だとか、それから医療とかもいろいろと本当に、うちの子たち恩恵にあずかって、ありがたいなと思っています。
- ・それで、これ、人権と命とかかわりのあることなので言いますけれども、今やっと水の問題が国会で取り上げられるようになったようですけれども、私、3年ぐらい前から、市長さんのほうにはダイレクトに水の民営化はこういうふうですよということで申し上げておまして。
- ・水とか、それから種子ですね、それを本当に人の人権を無視するような政権が横行しておるということを、この現実を自治体として、自分の足で名古屋は名古屋でやるんだと。国が決めたことだからということじゃなくて、私たちこの名古屋の市民として、私たち市民がまず気づいて頑張らなきゃいけないわけですけども、そういうところに市長さんが力強く、本当に心強く頼りがいのある市長さんがいてくださるということは、本当に私はありがたいなと思っています。
- ・いろいろ問題はあると思うんですけども、この人権、人の命、そしてその命にかかわる水とか食べ物ですね。遺伝子組み換えを使わないとか、ブラジルももうある企業の遺

伝子組み換えを使わないと決めましたので、どっかの国もたくさん。なので、何もかも整備されてからではいけないから、前もって市民にもっと水の民営化とは、それから種子法が廃止されたらどうなるかと、そういうことをもう少し、こういうところでもいいですので、広く情報をちゃんと伝えてもらいたいと思うんです。

- ・情報がなければ市民は動けないですね。よろしくお願いします。
- ・以上です。

### 【コーディネーター】

- ・ご質問というよりご意見であり、また後で時間があればコメントを頂戴したいと思えますけどもよいという感じですね。どうもありがとうございました。
- ・それでは、お二人目どうぞ。
- ・今のように子どものことだとか命のこと、それから子ども、高齢者、障害者のことに関して何かご意見がございましたら。
- ・とりあえず1つご意見、水道の民営化、命にかかわる話ですね。加えて種子法の話が出ましたけども、これについて、コメントをいただきましょうか。
- ・市長さん、何かありますか。よろしくお願いします。

### 【市長】

- ・それでは、1人目の方、ありがとうございます。
- ・名古屋は基本的に財政危機というのは嘘で、これは。特に名古屋はすごいですね、これは。戦争で破壊されたまちけども、今や税金上納率日本一と。貧富の差が激しいでわかりにくいんですけど。半分ぐらいが某世界の自動車会社のおかげですけども、それと東京と大阪の真ん中にあるって非常に地の利がええということで。
- ・国に先んじていろいろやれと。実際はそうなんだ。そういうふうには言っ取るんですけどね、これ大課題で、いろいろ言うと、役人が法律ではこうでと、まずこうくるんです。役人の皆様方、ここにようけおみえになる方が。
- ・だから、それを突き破るのがなかなか実際できんですね。これ、長い間財政危機だ言っ、みんなだまされてきたもんでいうことは思っております。
- ・水なら水で本当に、単純に言えば、庄内川で泳げるようにしよまいとか。それから堀川3川ありますけど、堀川、新堀川、中川運河、あそこも泳げるようにしよみやあと。そのぐらいの、泳ぐには大変に困難がありますけど、相当水質の基準を上げんといかんですけど、そういうチャレンジをしようとは言っ取るんです。
- ・だけど、なかなかこれが。わしもこれなんですわな、これ難しいわな、これ。トランプ大統領が3,000人ぐらい、トランプに限りませんが、ポリティカルアポインティーというメンバーも一緒に来るんです。ロサンゼルス市長は、5人ばかり市長をかえたいと言っましたね。4年か5年前でしたけど。局長です、局長をかえたと。局長をかえるということは、下に部下もおりますんで、そういうことで新しい意見が役所の中に取り入れられる機構があるんですけどね。sondで苦労しとるわけだ。
- ・一応日本で一番給料の安い市長ですけど。税金を1円でも安くする、日本一の福祉をお届けするということは絶対名古屋はトップだと思いますよ、これ。いろいろ欲を言えば

切りがないことありますけど、名古屋の福祉はトップだと思います。

- ・食品なんかも、まっというろいろやれることがあると思うんで、何か具体的に提案していただいたらええと思いますけど。
- ・ほんなことではいかんかな。区長どうや。真面目な顔で座ってござるけど。
- ・名東区が1番になってちょ、同じばっかではいかんもんで。

#### 【区長】

- ・今のご質問の話が、水の民営化という話をされたんで、多分水源地の問題だとか、食の安全のために種子を守っていくというような話ですね。そういうことをおっしゃったことに対して、正しい情報を正しく伝えてくれというご発言だったと思うんですけど。正しい情報を伝えるということは非常に大事なことで私たちも思ってますけど、区の立場でなかなかコメントするの難しいんですが、そういう情報があれば、我々はやっぱりふだん区政運営でいろんなご意見を聞いてやっていますけど、区民の方からよくお叱りを受けるのは、やっぱり知りたい情報が知りたい人のところに行っていないというお叱りをよく受けますので、そういう点では、情報の質というのを我々区役所のほうできちんとやる。そこまで把握するというのはなかなか難しいかもしれませんが、そういうことで、できたものに対してどういう形で区民の皆さんのところに届けたらいいかというのは、それは常に考えてやっていきたいと思っております。

#### 【コーディネーター】

- ・ごめんなさい。
- ・先ほどのご意見の中で、水道法が制定されようとしている話は聞いたことはありますが、名古屋市水道局が民営化するという話までは、私は聞いたことないんですけど。

#### 【市長】

- ・前に言ったことあるんだ。

#### 【コーディネーター】

- ・そうなんですか。

#### 【市長】

- ・言ったことあるけど、さっぱりうまいこといかんと。1人だけだもんで。提案が出てこえへんですから。

#### 【コーディネーター】

- ・具体的には出てこないということですね。

#### 【市長】

- ・ええ。今のところ、水の民営化は、世界的に見るとあまりうまいこといかないというのは、一般的でもないけど言われておりますけど、下水道はこの間浜松がやりました。

【コーディネーター】

- ・そうですね。

【市長】

- ・だで、下水から始めるかということは言われておりますけど、民営化しても、競争せんと大体悪くなるんですわ。今、区長あんなこと言ってましたけど、名東区で人口が 16 万 6,000 ありますので、こんな 16 万 6,000 あったら、どっか愛知近郊の市と同じなわけでしょ。別に独立にどんどんやってもらってもええんだわ、これな。何にも同じことやらんでも。
- ・だけど、2~3 年でかわりますんで。選挙ないし。そういう個性が出せれんということで。文句ばっか言っとならないうしょうがないけども。

【コーディネーター】

- ・どちらにしても、命にかかる話。水の安全にしても食の安全についても、市民の関心事であり、極めてベーシックな話ですから、その辺は市のほうもそういった情報提供等は、していく必要があると思います。先ほど区長さんが区の立場では難しいという話ではございましたけども。だけど、食や水の安心・安全に関する情報提供をしていくとか、安心・安全に対する認識を持っていかななくてはならない。そういった趣旨のご発言だったと受け止めさせていただきたいと思います。
- ・どうぞ。

【企画調整監】

- ・1 人目の方、人権の問題について触れていただきまして、どうもありがとうございました。
- ・私ども今、今日、皆様に基本計画、総合計画のことについてお諮りをしておりますけれども、名古屋市、昭和 52 年に基本構想というのを持っておりまして、名古屋市でいえば憲法のような、揺るがない方針があるわけですが、ここでもやはり人間性の尊重といいますか、人権の問題については、これからもやっぱり一番大事な、大切にしたいという市政の大原則だと思っておりますので、今回の都市像 1 のところで、あえて人権が尊重されるというのを 1 番に掲げたというのも、そういうような趣旨でございますので、ご理解賜りたいと思います。

【市長】

- ・子どもと人権というのは、圧倒的に日本中で名古屋がトップです。だから、今年からも、また来年 4 月から進めますけど、アメリカ型はアメリカ型なんですけど、どう言ったらいいんか、学校の先生、アメリカ行くと 2 種類あって、教科を教える人が半分しかいない。あとは、体が不自由だけこういうチャンスがあると、親が離婚したけどこういうチャンスがあると、アスペルガーだけこういうチャンスがあると、専門の人たちがやる。画一的にやるんじゃなくて、一人一人の子どもさんを応援するという立場なんです

ね、これ。そういうのを今 125 人までつくってききましたけど、この 4 年間で 7,200 人ですか、子どもさんの面倒見る。それでも自殺しますからね。何人というのもちょっとあれですけど、それでも。

- ・みんな、ちょっと成績が悪いとかそういうことで絶望しちゃうんだね。学校行っても、学校、内申点持っとる中学校だと、とこだもんで十分相談ができないと。そういう子どもの人権という面からすると、別個につくらないかん。やっぱり子どもの命を救っていくと。一人一人応援するんだと、いろんな環境にかかわらずというのをやっとするのは名古屋だけですので、これは。ぜひその辺は、全然褒めてくれんでいかんですけど、なっ、そうでしょ。誰も褒めてくれん、自分で言うよりしようがない、これ。

#### 【コーディネーター】

- ・「1 人の子どもも命をなくさない」ということですね。

#### 【市長】

- ・だから、今年の、来年のスローガンは、「1 人の子どもも死なせない名古屋」というふうでやります。反対しとったけど、当局は。大変だからですよこれ。大変です。だけど、その気持ちでやらないかん。
- ・予防的にやるんですね。例えば、転校してきた子だとか、それから親が離婚した子とか、そういうことでも一人一人をちゃんと、学校の先生がついでにやるんじゃないで専門家がやるんです、専門家が、常勤の。
- ・そういうことに皆さんの税金を使わさせていただいておりますけど、これは喜んでいただけるのでないかというふうに自負は持っとる。文科省も、名古屋はフロントランナーだってはっきり明言してますから、これは。ということでございます。

#### 【コーディネーター】

- ・1 巡目は、都市像 1・2 ということでしたが、まだご質問、ご意見を 1 つしかいただけていませんけど。学校教育のこととか、子育てのこと、それから高齢者の福祉に関する、障害者の福祉に関する事などについて、ほかにご意見、ご質問ございませんでしょうか。
- ・よろしいですか。
- ・どうぞ。都市像 1・2 についてお願いいたします。

#### 【2 人目（西区）】

- ・名古屋に来ましてまだ 2 年と。会社の赴任の関係で生活しております。
- ・多様な人々が自分らしく活躍できるということで、後のほうにも出てまいりましたが、外国人の方が大分増えているように感じます。外国人の誘致も少ないという話も後から出てきましたけれども、暮らすという上では、外国人の働き方ですとか、あとは留学生なんかもういっしょにいます。この方々が暮らしやすくするためにコミュニティをつくるなど、そういう方々の意見を聞いて住みやすくするというようなお考えですとか、もしくは外国人が暮らすための何かお考えになることがあったら教えていただきたいなと

思います。いかがでしょうか。

### 【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・ほかに、都市像 1・2 についてのご発言はありませんか。今の話も都市像 1 に関係すると同時に、どちらかという、都市像 5 にも少し関係するかもしれませんね。産業の話、多様な人材の働き方みたいなお話でしたから。
- ・ほかにどうでしょうか。
- ・どうぞどうぞ。皆さん徐々にエンジンかかってきてよかったです。

### 【3 人目（名東区）】

- ・高齢者も障害者もみんなが元気というところで少し意見を述べたいと思います。
- ・最近、私たちの住宅の中で空き家がありまして、その中に高齢者の方が終日寝泊まりされる施設ができたんですけれども、そういう施設ができることは悪いことではないんですが、担当の方から一切連絡がありませんでした。
- ・もしそういうものができる場合は、その担当、責任者の方とかその施設を運営される方に駐車場をどうするか、今、路上にとまっているんですね送り迎えの車とか。ですから、やはり町内とうまくやっていくためには、事前の連絡、名東区か名古屋市かわかりませんが、それができたときに、私は区役所に電話しました。どうしてこういう施設ができるときに町内に連絡がないんですかと申し上げたんですけれども、もう既にできた後で。夜なども、4~5 人常時泊まってらっしゃるんですね。火事とかそういう何か起きたときどうするんですかとお聞きしたんですけれども、もしそういうことがわかっていけば、町内で協力するとかお互いにそういう話し合いがしたかったんですけれども、そういうことが一切なかったんですね。
- ・やはりそういった施設ができるときには連絡が欲しいんですね。今、車も路上でとまっています。それも防火水槽の前でとまっています。一応そういうことはみんなが協力していかないといけないことなんですね。私たちも手を差し伸べようとしましても、聞き入れる耳を持たれませんし。
- ・今後そういう空き家があった場合、そういうことがだんだんできてくると思います。それをやはりどうしたらいいかということを中心に筋立てて決めてほしいと思います。
- ・私たちの町内では、もう 1 つ障害者の方の施設もできたんですけれども、自分たちは自分たちでやるからというようなご意見なんですけれども、そうではないと思います。やはりみんなが助け合って、手を差し伸べないといけないと思うんですね。みんなが元気というのであれば。だから、もう少し名古屋市か、どこでそういう決めていただけるかわかりませんが、何かあってからでは遅いと思います。やはりきちんとした方針とかそういうのを決めておかれたほうがいいと思います。
- ・住宅も、高齢化で空き家になっています。相当空き家になってくると思うんですね。そういう問題も今、そちらとちょっと関係ないかもわかりませんが、今後、空き家があった場合に、もう少し私たちとその施設を運営される方のうまくできるような方法をきちんと決めていただきたいと思います。



- ・ 以上です。

【コーディネーター】

- ・ ありがとうございます。

【4 人目（北区）】

- ・ 関連でいいですか。

【コーディネーター】

- ・ 関連ですか。じゃあ、今どうぞ。

【4 人目】

- ・ 今の関連なんですけど、今、学区連協なんかで防災メールつくっていますよね。高齢者の方、地震なんか起きた場合の防護で名簿をつくってみえると思うんですけども、今みたいな施設ができると、その入居者に関して、町内会には連絡来ないんですよ。個人情報とか言われて。どんな方が何人みえるかもわからないですよ。こういう問題がある。
- ・ 要するに、発災が起きた場合に、例えば体育館に収容するにしても、どういう方がみえるかわからないんであればできないですし、もっと大きな問題は、例えば千種駅のところに高齢者用の高層のマンションがありますよね。医療施設が入っているような。あれって、世帯数でいうと 100 ぐらいあるんじゃないですか。聞いたんですけども、区はこれ、マンションの入居者に関して情報を持ってみえないと聞いたんですよ。
- ・ もしも発災した場合に、ああいう高層マンションなので発電施設とかあるとかは言ってみえますけども、水とか、2 日 3 日は体育館に収容するとかいうことも必要になるかと思うんです。そういう場合、体育館に収容できますか。
- ・ 例えばこういうマンションをつくる前に地域協議って必要だと思うんですよ。やっぱりそういう情報を、個人情報保護の壁を越えてどう学区連協とか地域の自治体と連携するか、こういったことについても、実はもうちょっと区のほうで何とか対応していただきたいと思います。

【コーディネーター】

- ・ わかりました
- ・ 4 人目の方、ありがとうございました。
- ・ 多分今の施設は地域密着型施設だと思われます。だとするなら、名古屋市の人しか利用できないような施設なので、通常であれば施設運営者や施設職員はいずれ利用者になるかも知れない地域の方とは非常に仲よくされるケースが多いんです。ご発言のようなケースは、結構珍しいケースだと思うんですけど。でも、そういうお話があるとすれば、大事だと思いますので。
- ・ 本当は地域に支えられながら地域とともに育っていかなくちゃいけない施設でありながらそれというのは、ちょっと寂しいですね。

【3 人目】

- ・市役所に相談に行ったんですね。障害者の施設ができるときに。
- ・そうしましたら、担当者がおっしゃるには、その施設をつくるという方の意見のほうが重要視されました。いろいろ意見申し上げたんですけれども、もう書類が全部そろって、それがそろっていればもう大丈夫だと言われましたので。

【コーディネーター】

- ・反対されているわけではないですもんね。施設の方とうまくやっていきたいんですよね。

【3 人目】

- ・そういうことです。

【コーディネーター】

- ・先ほど二人目の方から、都市像 4・5 にもかかわってくる話ですけども、いわゆる外国人の働き方、暮らしやすさみたいな話が出ました。後でコメントいただいてもいいですけど、その辺が 1 点ですね。
- ・3 人目の方、それから 4 人目の方からは、高齢者の施設とか障害がある方の施設、そういう施設ができるときに、地域ともっと溶け込みながら施設運営できないかというお話でした。特に避難時の、災害の発生したときの対応などもやっぱり地域で受けとめていかなくてはいけないから、それが何かうまいぐあいにできないだろうかというようなご意見であり、またご質問的な意味合いも少しあったのかと思います。
- ・その辺、いかがでしょうか。

【市長】

- ・それでは、2 人目の方ですかね西区の。外国人と暮らすんだけど、何か考えとるか。
- ・国で今やっておりますけど、どこの区だったかな、かなり出ましてですね。一番多いのは中区。外国人が多いのは中区ですけど、そのときにわしが言ったのは、NHK で 1 週間ぐらいになるかな、今からいうと、例えばベトナム。今、ベトナムとそれからネパールなんて多いですけどね。
- ・ベトナムならベトナム語をしゃべる、少なくともちょっとおる人の中から仲介役みたいに見つけて、ベトナムから来た人、そういうベトナム語をしゃべれる人が面倒を見るとするのは、大変にうまいこといっとるということを NHK でやっていましたね。
- ・それでやったらどうだと言っとるんですわ。めちゃくちゃ投網をかけてというのも 1 つありますけれど、ボランティアをね。だけど、それが 1 つと、それから特に港区なんかはやっぱり防災上、そういうところは家庭訪問しろとちゃんと。区役所が 1 軒 1 軒ずっと。外国人にハウアーユーでも何でもええですけど、というといろんなことがわかるし、それからいろんな学区連協でやりますけど、どうしても同じ人になってくんですわ、これは。
- ・わしの町でもあれですけども、よう頑張ってもらっとるけど、同じ人になっていって、

外国人の新しい人が学区連協のドアをぱっとあけて「どうだ」いうのはあり得んですわ、今のところは。だで、やっぱり市役所の職員、区役所の職員がそういう、特に港区だかいところは、それと中区もです、外国人が多いところは一遍家庭訪問やってちゃんとみんなです。そこでご用聞きをやるということですわ。

- ・何遍も言っとならけど、絶対やらん言っとならかん。何なんだ言っとな、これ本当に。商売だっとなですよ。みんな、基本は、例えば個別のニーズがあるところへ回るんですよ、みんな。「ばかやろう、帰っとなけ」言われても回るんですよ。
- ・市役所は、地方自治法に規定でもあるのか言っとな。地方公務員は家庭訪問してはならないと。家庭訪問した者は懲役何年に処すとかあるのか言っとな、と言っとな。その2つぐらいですね、僕が今思っとなのは。
- ・それから、3人目の方の話で、これは何、住宅にお住まいになっとなって、そこの中に空き家があるらけど、そこに何人かが勝手に住み出したということ。

【コーディネーター】

- ・施設ですかね。

【市長】

- ・施設ができたということ。

【3人目】

- ・施設ができました。

【市長】

- ・その中にですか。敷地の中に。

【3人目】

- ・はい。それで、できるということを一切知らなかったんですよ。

【コーディネーター】

- ・開始されることもよくわからなかったみたいで、地元の方に知らされてなかったんですよ。

【市長】

- ・それは知らせるでしょ、しかし。

【3人目】

- ・でも、普通はそうですけど、普通ではなかったんですよ。全然連絡がなかった。

【市長】

- ・そうですか。連絡せないかんわね、それは。障害者福祉法の場合ももめる場合が

多々ありますんで、そこら辺をびびって言わなんだのかもしれんけども、それはいかんですよそんなことは。

【3 人目】

- ・どんな形でも、連絡があってしかるべきだと思うんですね。

【市長】

- ・これちょっと、区長が答えないかんがや。
- ・あとの4人目の方の話でいっても、これは重大な問題ですけど、コミュニティの中でみんなで共有できるかどうかと。体の不自由な人、それから知的なちょっといろいろご苦労がある人たちの情報をみんなが持てるかどうか、これ、非常に大変なプライバシーの問題がありますんで重要な課題だけど、一応法律がちょっと変わって、若干持てるようになった。
- ・ちょっとその辺のところ、区長、今の3人目の方のことちょっと。
- ・何住宅。

【3 人目】

- ・一回見にきてください。

【市長】

- ・一回見てちょ、それなら。

【区長】

- ・3人目の方の話と4人目の方の話と2つあったと思うんですけど、まず、多分そういう話で一番困るのは、4人目の方がおっしゃったように、災害時だと思うんですね。今、市長がちょっと変わったという話をされてましたけど、今、名東区では総合見守り支援事業というのでやらせてもらってますけど、障害者とか高齢者で本人の同意をいただいた方の名簿については、学区に役所のほうから渡せるということで、名東区でいくと、それは順次学区ごとに進めてて、今年度で全19学区に展開するというところでやっています。
- ・ただ、みんながみんな同意をとれるわけじゃありませんので、全て行き届くわけではないですけど、そういう形で何とかできないかなと。19学区そろそろころがありますので、やってきた結果として、いろんな矛盾点や何かも今出てきていますから、そこら辺も地域の皆様と話し合いしながら、変えていけるところは変えていこうかなということで、今、中でも検討しているところです。
- ・それはそういうシステムでやっていくんですが、ただ、おっしゃったような高齢者施設という話ですと、多分その施設を許認可するという話が多分あると思いますから、事前に察知するというのは割とできるかもしれませんが、先ほどおっしゃった高齢者マンションみたいな話になってしまうと、なかなかそういうのは難しいかもしれないなと思います。

- ・一般的に言うのであれば、高層マンションであれば、近隣の方に説明するというので、看板が立って説明するという手順がありますので、役所が先に知ることができるといってもそれぐらいしか実はない。マンションという話になっちゃうとそれしかないかもしれません。
- ・ただ、施設であれば、多分担当しているところで許認可というところがあると思いますので、そういう知りようはあるのではないかなと。ちょっと僕も確認しないとわからないですけど。
- ・ただ、究極的にいくと、でも、その施設は施設で頑張ってもらわなきゃいけないというのは確かですけど、やっぱりその施設だけで何とかなるとい話ではありませんので、やっぱり地域の方としっかり情報交換しながらみんなで支えるという形をつくっていくというのは、おっしゃるとおり非常に大事なことです。どうい形で行けるかわかりませんが、それをお知らせするということはやらなきゃいけないんじゃないかと思ひますし、また後で場所を教えていただければと思ひます。

#### 【市長】

- ・本人が OK と言ったら学区連協に渡すの。

#### 【区長】

- ・学区連協に渡すんですが、一応区政協力委員さんというのは準公務員みたいなことになっていますので区政協力委員さんまでは渡せるということですから、委員長さんだけじゃなくて、委員さんまでいいです。
- ・ですから、名東区の場合でいくと、委員長さんに学区のものは全部お渡しして、各委員さんには各委員さんが担当する地区の名簿を持ていただくというやり方でやっています。

#### 【コーディネーター】

- ・地元のことは地元の方に聞いたらいいと思うので。そちらの方、ちょっと解説してください。

#### 【5 人目（名東区）】

- ・今区長さんおっしゃったように、名東区ではそういうところ、私も 5 年ぐらい前に初めてそういう高齢者の見守りとかそういうのを積極的に始めまして、毎年やっているんです。10 月も実はそれやったんですけどね。うちの場合には、必ず高齢者の方の、とにかく氏名と大体の年齢ぐらいですね、それと健康状態がどうか、ある程度のいろいろな書類というのは区からも来ますけど、我々も積極的にやっています。
- ・今、高齢者、75 歳以上の方が私の住むところでもやっぱり 900、890 人ぐらいいらっしゃるんですが、そのうちの大体 220 人ぐらいが今登録されていますけど、その方に対するそういうふうなフォローというのは確実にやっています。
- ・そういうふうなところでいろいろとお話聞いていると、あれがだめだ、これがだめだ、これはどうしたという話だけど、結構いいところもあるんですよ。だから、いいほうも

どんどんどんどん意見を言ってほしいということですね。

- ・それは、名東区の区政協力委員もみんなその気になっていきますから、そういう点では、名東区は非常に高齢者とかそういうものに対する見守りというのはしっかりやっている区じゃないかなと私は思っています。

#### 【コーディネーター】

- ・例えば、今お話があったみたいに、もともと住んでいる住民の方だったら比較的状况把握はしやすいと思われます。しかしながら、先ほどの3人目の方のお話のケースですと、泊まり、一時的にショートステイに入るような施設だったりすると、そこに入っている人の状況は把握しにくいです。
- ・だから、そういう意味では、5人目のかたがおっしゃったような方法とは別物としてやっていかなくてはいけない部分ってあるんでしょうね。

#### 【5人目】

- ・それはございます。
- ・実は、私が担当している中でも、これは国勢調査なんかで1軒1軒お訪ねして、ある程度のところまではチェックするというやり方しています。

#### 【コーディネーター】

- ・これは非常に大事な話ではあるのですが、かなり個別の話にもなります。今日は、次期総合計画についてご意見、ご質問をいただく機会ですので、別の機会に話し合ってくださいことにして、次に話を移したいと思います。
- ・よろしいですか、ご発言ありますか。今のに関連して。先にどうぞ。

#### 【6人目（名東区）】

- ・さっきの施設の件なんですけど、私どももあったんですが、保育園については事例で確かに地域に説明しないかんということですが、たまたま授産施設みたいのができたときに、厚生省の省令の中に2種類あって、ちゃんと地域に説明しないといかんというやつと、少し年号が変わってしなくてもいいと、2つのそういう省令が出てるもんで私ども迷って、地域からその件について自治会長からクレームがついて、結局ここの民生子ども課さんとか、社会福祉協議会、今日来たんですが、結局そこからいただいた資料には厚生省の事例、直接的にはさっきの施設とは授産施設でそういう省令が結局、片や説明しなくてもいいと、片や説明しなさいと、そういうふうに出てきたので、我々現場では大変迷った事例がありました。つけ加えておきます。

#### 【コーディネーター】

- ・なるほど。わかりました。
- ・お願いします。

#### 【企画部長】

- ・総合計画という全体の観点からお話しさせていただきますと、先ほどの要支援者というんですか要援護者の方々の名簿というのは、災害対策基本法に基づきましてこういうのは集めるということで規定されております。名東区さんが今やられている見守りというのはその一環になるのかなと思っております。
- ・確かにそういう住居のある方というのはそういう形で情報を集める。それを使って災害時に地元の皆さんで助け合うということができるような形にはなっておりますし、実際に名東区さんでそういう形でやっていただいているんですけど、そういうところでいくと、例えば先ほど言った施設というところになりますと、おっしゃるように、なかなか施設の方々は住所を把握するというのは難しいところがございます。結局のところどうということかといいますと、その施設の方々と協力し合うということが最終的には必要になってくるのかなということになります。
- ・マンションの場合はまたちょっと難しい問題も少し出てくるので、ここで解決策がどうだということとはなかなか言えないというのが正直なところでございます。
- ・こういうところを含めまして、先ほどの地域の見守りという部分、それから来年、今年度から、名古屋市で地区防災カルテというのをつくってまいるということで、危険箇所をいろいろ把握したりという中に、こういう災害での助け合いという部分も入ってくるかと思しますので、そういうところで話を進めていけばいいかなと思っています。
- ・ただ、要は、地域のコミュニティを活性化することになっていくのかな。結局はそこの部分になるかと思しますので、施設の方々も含めたそのコミュニティの中の一部だと、そういう意識を醸成していくことが、まずここで一つ重要なのかな、そういうことも含めましてやっていかなきゃいけないのかなと思っております。
- ・事前把握という部分については、なかなか私知識がないので申し訳ないですけど、コミュニティ全体を活性化させていく、うまくつくっていくという部分もやはり総合計画の中の課題ではあると認識をしておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

#### 【市長】

- ・授産施設の場合、どういうふうにとれるかわからんけど、障害者差別禁止法というか解消法という、あの中には、いわゆるそういう施設をつくるときに近隣の了解を得させてはいけないと。そこまで今もう書いてありますよ、実は法律上は。よくもめることがあるんです。それだけ大事にせないかと、どうしても近所につくるないうことになりがちですからね、そのぐらいまでの規定はあると。
- ・だけど、めちゃくちゃやっていいという意味ではないですけども、そういう法律になっとるんですけど、授産施設はAとBなのかちょっとわからんけど、それはあるということです。

#### 【コーディネーター】

- ・いずれにしても、これから高齢社会がもっともっと進んでいきますから、そうなってくると、今国でも、名古屋市もそうですけど、地域共生社会ということで、高齢者も子どもも、それから障害がある方も、様々な生活課題を抱えている人も、地域の中でお互いに支え合いながら暮らしていくということを目指していかないと、これからの社会

を築けないという話になります。地域共生社会をつくっていくためには、コミュニティで解決すべきことと、それに対して行政がどういう形で支援したり情報提供していくかというのは大事な課題だと多分事務局側も受けとめたと思いますので、次の話にさせてもらいたいと思います。

- それから、2人目の方の話は都市像5ともかかわりますので、もしそこで足りない部分のご発言ありましたらお願いいたします。
- それでは、2巡目の話でございます。
- 高齢者の話をしてくると、どうしても災害の話とかも出てきます。次のパートは、都市像3ですね。皆さん、6ページをごらんください。「人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまち」これが都市像3です。
- ちょうど今も、避難者、要援護者の話も出てまいりました。そんなような話も含めてご発言いただきたいと思います。それから、都市像4ということで、「快適な都市環境と自然が調和したまち」これらの都市像は、まちそのものの空間や環境と、それからいわゆる環境の話ですね。自然であったりとか低炭素、循環型で環境に優しいまちをどう築いていくか。こうした都市像3・4について、ちょうど話もそちらのほうに展開してきましたので、これら2つの都市像に関してご意見、ご質問ある方どうぞ。

#### 【6人目】

- 1つ具体例を挙げて要望したいんですが、名古屋市には1,000人規模から1,500人規模を収容する多目的ホールが少なく、事例を1つ挙げさせていただくと、市長も御存じの井沢元彦氏の出身校である神丘中学校が音楽会をこの7日に行ったんですが、この中学というのは大変過大校で、992名という過大校でして、結局名古屋市内で会場が確保できなくて、豊田市民文化会館を借りたわけです。30台のバスを仕立てないかんもんで結局、そのときに校長いわく、ご近所に迷惑をかけるということで、チラシを教職員で各戸配布するということがあって、そんなことは先生がやるべき仕事じゃないから、学区連協を通じて自治会の回覧を回すということで、皆さんのお叱りを受けない方法をしたんですが。また、こういう30台も連ねる、わざわざ連ねてほかの都市まで行ってこういうことを生徒に強いるというのは大変地域としても苦しいことで、どうか名古屋市内に1,000人規模から1,500規模の多目的ホール。これもう取り合いなんですね。金山のガイシホール、センチュリーホール、もう今回やった段階で、来年の手当てをしないかんもんで、これも皆さん、猪高中学さんもたしか豊田市民文化会館で開かれているもんで、何とかこういう施設、1,000人から1,500人規模のやつ。そして、これがあることによって、名古屋飛ばしがなくなると思うので。ほかのイベントなんかも、結局今お聞きすると、刈谷市民会館が利用しやすいし、そういうことでみんな飛んでいるので、結局さっき言ったように、リニアでストロー現象でみんな、こういう文化イベントがみんないってしまうので、ひとつこういう施設の早急なる建設をお願いしたいです。
- 以上です。私のほうから。

#### 【コーディネーター】

- ありがとうございました。



- ・もしかしたら都市像の5にもかかわってくる話ですね。文化施設に関するご発言でしたので。また、学校教育にもかかわってくるような話としても受けとめました。
- ・そのほか都市像3・4に関して、いかがでしょうか。
- ・災害の話、それから都市環境ですね。名東区あたりはかなり緑の多いまちでもありますけれども、よろしいですかね。
- ・特にないようでございますけども、一旦ここでコメントをいただくような形でよろしいですか。
- ・市長、よろしくお願いします。

【市長】

- ・今のホールの話ですけど、これは本当に情けないというか。今ちょうどこちらが出したのが、1,000席以上のホール一覧平成30年11月時点と。10個ですから、10個あったのが、閉館3つ、休館中3つですから、10個あったのが4つしかあいてないという状況です。こりゃ何とかつくらないかんのだけど。

【フロア】

- ・お城の前にやっちゃえばいい。

【市長】

- ・お城はまだあれだで、大事だもんで。ああいうことが、マスコミのせいにしてもいいかんけど、やっぱりああいうのどんどん進めてこうという雰囲気になるかならんかと思うけど、基本的には文化的な力があるかどうか。

【6人目】

- ・市民が伝えることが大事だ。

【市長】

- ・それはそういうことですわ。
- ・だけど、そんな豊田まで行つとるなんて知らなんだで、わしも。早速これ、つくっていくようにせないかんわね。本当にせないかん。
- ・どこにだ言って、どっかにつくる。厚生年金なんか、俺大分反対したんですよ壊すの。国会議員時代だったけど。

【6人目】

- ・勤労会館はどうです。

【市長】

- ・勤労会館もそう。

【6人目】

- ・大して変わらなかったでしょ。

【市長】

- ・言っとったんだけど。うまいこといけせなんだ。
- ・文化不毛の地だ言われとるがね、ほんだで。ということで、しっかりやってちょと人ごとではいかんけど。一応役所が上げるということになっとるんです、いろんなものを。

【6人目】

- ・修繕費用を考えたら。

【市長】

- ・そうですね。市長は、一応予算調整権といいますけど全部持ってますけど、一応財政が強いか、それはスタッフがないもので、役所から上げてくるわけですね。だで、これだと、観光文化交流局かね、それからちゃんと上げてこなかんで、よう言ってきますわ、これ本当に。

【6人目】

- ・30台バスをやると、地域から、子どもたちの活動にご理解のない方もみえるのですぐ電話かかってくる。  
学区じゃなくて、教育委員会にかかってくる。

【市長】

- ・これ、6割も使えんようになりゃ、ものすごいことですね反対に言えば。承知しました。

【6人目】

- ・期待しています。

【市長】

- ・はい。

【フロア】

- ・それより、すなわち名古屋にあんなものがあったら文句ないんだけど。文化会館すばらしい。敷地も広いし。名古屋と大阪と東京じゃないんですよ。同じ愛知県内の中なんです。

【市長】

- ・日本ガイシホールじゃないわ、金山のやつ、あれ、まだ決まっとりませんけど、古なっただけでどうするだいう話が。あれがとまりますと、もう本当にゼロに近いですよ、これ。名鉄ホールもなくなったし、中日劇場もあらせんし。どういう話ですから、これ本当に。

### 【コーディネーター】

- ・民間の施設も建てかえの時期に来ている問題がありますからね、確かに。
- ・なかなか施設の問題って、市長いいこと言われましたけど、一朝一夕ではいけない問題だとは思いますが。でも、次期総合計画の中で具体的に描かれるかどうかはまた別としても、アジア競技大会の開催やリニア中央新幹線の開通などの動きもあったりする中で、考えていかななくてはならない要素になるように思います。つまり、これは名東区の西山学区の問題でもあり、もしかしたら名古屋市全体の問題として受けとめていくというような案件であると思います。
- ・リニアが通ったけど、ストロー現象で東京に人が流れてしまうというような話も懸念されますので、名古屋市全体の都市戦略としても検討していくべき課題として、もっと具体的に考えていく場面を次期総合計画の策定とは別に設ける必要があろうかと思います。計画にどこまで具体的に位置づけるかという話はまた今後の課題だと思います。また、仮に次期総合計画に位置づけられたとしても、場所の選定その他いろいろ難しい問題があると思います。いずれにしても重要な課題だというふうに受けとめるべきことだと思いました。
- ・市長、ありますか。

### 【市長】

- ・基本的に言うと、名古屋は道路ばっかつくったんです役人が、これ。戦後。文化施設というのは一応あったんだけど、御園座がやれんようになった時代ですからまず。これ、財界が一応支えましたけど、そんな状況だもんで、名古屋の中にやっぱり道路。道路はまあいいです、こんだけつくったんで。
- ・やっぱ文化・芸術というか、やりたいこと言うと、どえりゃあおもしろい名古屋というか、そういうことをやっていくという一つの大きなスローガンを掲げないかん言っとるのに、今回の市民のこのあれでも。

### 【コーディネーター】

- ・もともと芸どころ名古屋ですからね。

### 【市長】

- ・芸どころ名古屋。300年前ですけど、それから悲劇がいろいろありましたもんで、いかんのだわ、これ。その第一歩がお城の木造化ですよやっぱり。そういうのから進めてかな、みんな。楽しんでコンサート行くと、しょっちゅう。そういう大きな流れをつくらなかと、この都市計画でも柱の一本として掲げないかん、どーんと。そうするとつくろういうことになってきますわね。
- ・ほんだで、今、あまり言うといかんけど、例えば中学校のコーラス部というの、Nコンといいます、NHKのコーラス。名古屋市の中学校が一番多い。39校がノミネートというかやっとるの。ほんで、いろんな行事の前に15分か20分でも中学校の子が、桜山中学が一番有名ですけど、ああいうところで歌ってもらえと一遍。Nコンのテーマソングとあとは青い山脈でも。川の流れようにでもいいけどね、ばあさんたちが聞いて涙こぼ

すようなやつをと言っとるんですわ。

- ・ だけど、これ、運ぶのは協力せえへんし、本当にそういう面では重大な問題がありますよ。文化・芸術、こういうところでは名古屋は。とつくづく感じております。
- ・ だで、自分でこの間、大須の演芸場で石積みしてきたがね、むかついたもんで。俺、自分でやってくるわ言って、30 分ただだけど。河村さんの話のほうがおもしろかったって言ってましたけどね、みんな。そうやって自分からやってかないかん。もっと楽しむいうか、そういうのをつくってかないかんですよ、これは。と思っております。

#### 【コーディネーター】

- ・ どうもありがとうございます。
- ・ 話が、どうも都市像 5 のほうに移ってきてまいりましたので、都市像 5 の方のパートに移行したいと思います。もしまた戻って都市像 4、すなわち「快適な都市環境と自然が調和したまち」、それから都市像 3、防災や防犯の話などに戻ってお話するような機会も設けたいと思いますので、もうワンステップ進めて、都市像 5 に進めていきたいと思えます。
- ・ まだ時間は随分ございますので、まだご発言の機会あると思えますので、皆さん遠慮せずに、こういう機会もなかなかありませんのでご発言いただきたいと思います。
- ・ それでは、都市像 5、「魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまち」ということで、これは、先ほどご質問あったように、外国人の労働力の話もあると思えます。産業の話、高いブランド力を有し市民が誇りを持っている。世界から人や企業をひきつけ国際的に開かれている。地域の産業が活性化し、高い産業競争力を有しているという。また、文化・芸術みたいな話もこの都市像 5 のあたりに入ってくるかなと思えます。
- ・ 都市像 5 に加えて、今回のこの「NAGOYA をつくろう!」の中に書いてあります中間案全般に対するご意見、ご質問でも結構だと思えます。
- ・ いかがでしょうか。
- ・ マイクを持ってまいりますね。
- ・ どうぞ。

#### 【7 人目】

- ・ 先ほど私がはなから聞いていたこと、名古屋港のいわゆる文化としての活用というものがどうも忘れられているような気がしたものですから、ちょっと意見述べさせていただきます。
- ・ 昨年も名古屋港いろいろ、なぜあまり名古屋の観光として生きてこないかということで、いろいろ回ってみました。そして最終的に、市の観光課のほうに参りましたら、いわゆる観光資源としてのいわゆる来客数、こういったものも、水族館を除いて、またポートタワーですとかそういったものほとんど利用されていないという現状がわかりました。
- ・ そういった中で、これは私の主観ですが、名古屋港そのものが、どうも経済というか機能、物流機能が先行してしまっていて、いわゆる本来の港という観光資源、いわゆるゆとりですとか安らぎですとか、そういったものの部分が弱くなって、あるいは目が行かなく

なってしまうんじゃないか。そういうふうに私としては感じたんです。

- ・今回見ていまして、例えば機能として、ちょうど名古屋港を横切ってしまったトリトンですね、こういったものがいわゆる名古屋港を先のほうへ先のほうへ進めてしまって、根元は海とはかかわりがなくなってしまった。
- ・そしてさらに、今度は中部空港ですね。そういったものを観光の拠点として、どんどんどんどん先へ出ていってしまって、これは、基本として、従来の名古屋港というものが、港としての感性を失ってしまっているんじゃないか、そういうふうに感じたんです。
- ・そういったことで、私の希望としましては、本来は港というのは、どこの、よその県でも、長崎でもそうですし、横浜でもそうです。港というのは非常に感性を持った資源だと思います。
- ・そういったことをぜひ忘れないように、名古屋市の計画の中に生かしていただきたいと思うんです。行政が、たまたま名古屋市と県との行政の区分という問題はおありだと思うんですが、やはり名古屋市の港として生かしていただきたい。忘れないでいただきたい、そういうふうに考えております。
- ・お願いします。

#### 【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・皆さん、この冊子をごらんになっていただけますか。この冊子の 10 ページをお開きいただきたいんですけど、これは、都市像ではなくて戦略というのを位置づけています。その中には一応都市機能強化戦略というようなことで、中部国際空港、名古屋港の機能強化だとかが書いてありますけども、一応こういう位置づけはあるものですから、その中身に関するコメントがあるならば、後ほど市長にしてもらいたいと思います。
- ・ほかにいかがでしょうか。
- ・後ろのほうの方からいきましょうか。
- ・どうぞ。

#### 【8 人目（名東区）】

- ・図書館についてちょっと聞きたいと思いますが。
- ・図書館は、昨年ですかね、アクティブ・ライブラリー構想とかいうことで、名古屋市全体を 5 つのブロックに分けて、そのブロックごとに 1 つだけ直営の図書館で、あとは委託とか指定管理者制としていくというような方針が出ました。だけど、名古屋市というのは数十年前から、日本全体で非常にすぐれた運営をしているということで評価されてきたんですけども、ここ 10 年ぐらい市の採用が全然なくて、180 名ぐらいいたのに、今は 80 名ぐらいしかいないと聞いておりますけれども、そういうことは、文化行政、文化についてすごく力を入れたいというようなことを先ほど聞きますけれども、やっぱり図書館というのは、図書館を使って、高齢化社会においては居場所になるし、子どもたちも勉強する場所でもあるしということで、それぞれが自分の生きる道を、図書館の資料を利用して頑張っていくといういい場所なのにかかわらず、そういうところに力、予算を割かない。資料費もどんどんどんどん下がってきて、過去、以前より 2 分の 1 ぐ

- らいになってしまっているという状況で、各図書館が新しい本を十分買えないということで、利用者は、図書館へ行っても新しい本が全然見れない。ないから期待できないということで、日進市とか長久手市へ行けばもっと新しいところがあるし、そこは駐車場はただだしというようなことで、名古屋市の図書館というのはどんどんどんどん廃れていくという形があると思うんですよ。それは非常に残念でしようがないと思っています。
- ・それから、指定管理者制度というのは、今試行ということで、5つの図書館でやっているんですけども、こういうのも、実際、本来の指定管理者制度でしたら民間のノウハウを生かしてよくなるというふうに言われているんだけど、全然そこら辺の効果が私には見えないんですけど。そういうことをどういうふうに考えておるかということで、もっと抜本的に変えてもらいたいし。
  - ・それから、図書館を40年ぐらい前につくられたところがどんどんと古くなっていったらどうするかということで。今特に千種図書館なんかは耐震性が不十分だということで、ちょっと地震があったら潰れてしまうという状況で、もう閉鎖しなきゃいけないぐらいな状況になっていますよね。そういうことについてもちっとも、市民からのいろんな要望が出てても、早く建て直せとか耐震工事やれとかいうことを言っても、ちっとも動かない。図書館に対して蔑視というんか、教育行政が豊かじゃなくて貧弱であるというふうに言わざるを得ないと思っていますけれども、そこを抜本的に改革してほしいと思っています。

#### 【コーディネーター】

- ・ありがとうございました。
- ・あともうお一方。
- ・どうぞ。

#### 【9人目（名東区）】

- ・この総合計画、私もこれで2~3回になるかな。
- ・総合計画を聞くたびに思います。今後やることについての話はそのたびに強調されてきて、しかし、これまでやってきた計画、例えば今の計画が今年で終わりですよ。これについて、実施できなかったものがあるはずですよ。そういうもの、それから途中でやめたとか、そういうものがあるはずですが、そういうのをこういう場で発表されているのかどうか。発表されていなければ、それをお考えいただきたいと思います。

#### 【コーディネーター】

- ・ありがとうございました。
- ・あとお一方ぐらい受け付けましょうかね。
- ・どうぞ。

#### 【4人目】

- ・先ほど9人目の方がおっしゃったように、今までの中期戦略で、中期目標に対する評価というのが市民に報告されていませんよね。

- ・私は中区のタウンミーティングで、議会報告会、名古屋市議会条例に、4条に定められた議会報告会が名古屋市では開催されていない、条例違反の状態があるというふうに指摘しましたら、市長から議員の政務活動費で開きやいいっていう。
- ・けども、条例には、議会が議会報告会を開くというふうに書いてあります。議会というのは、憲法93条で地方自治体が開催する責任を持っています。名古屋市が開催する議会報告会を議員が政務活動費で開催したら、これは公職選挙法199条違反です。市長が市民に対して法律違反の説明をするというのは異常です。
- ・また、市長は議会報告会が公平ではないとおっしゃいましたが、この議会報告会の条例は、公布したのはあなたじゃないですか。何でご自分でそんな不公平な条例を公布されたんでしょうか。
- ・そもそもあなたはこの中区のタウンミーティングでもこういった法令違反の説明をされますし、西区のタウンミーティングでも、先ほど出ました在留外国人の住宅に対する戸別訪問、これを進めるとおっしゃってますけども、これは市の職員が反対するのは当たり前です。こんな、市の職員が在留外国人のお宅を戸別訪問するような制度を開始すれば、「消防署のほうから来ました」と言って消火栓を買わせるような類いの犯罪が発生するのは目に見えているでしょう。
- ・また、この在留外国人の、要するに特定の属性を持った方に対して行政が戸別訪問するというのは人権の問題もあります。ちゃんと法的な整備がなされない限り、特定の地方自治体で行うには非常に危険です。だから職員は反対するんじゃないですか。
- ・また、これ、市長、あなたが今、例えば1,000人規模のホールについても頑張る云々言ってますけども、あなたがいるから、例えば国際展示場の計画についても遅延しているじゃないですか、今。あなたは港区で調べる、特別の秘書を雇うとおっしゃったけども、結局金城ふ頭に戻している。あなたがいるから遅れている。
- ・あなた、さっき開催のときにおっしゃったけども、市長ろくでもないからやめろと言え。言いますよ。ろくでもないからやめなさいよ。
- ・もう1つ言わせて。
- ・あなたは、そもそも、そもそも自分の発言に責任を持って、それを実現する気があるのかどうか、それは非常に私は疑問です。
- ・いいですか。あなたは、平成18年の1月21日衆議院議会運営委員会で、あなたは、国会議員年金について一円も受け取らないとおっしゃった。あなたは、もうすぐ70だよ。年金受給年齢になっているはずだ。

#### 【コーディネーター】

- ・4人目の方、すみません。

#### 【4人目】

- ・ならば、ここで今日、国会議員年金について、一円も受け取らないという、ちゃんとエビデンスをお示しいただきたい。御自分の発言にどのように実証できるのか。口で言うだけだったらいくらでもできるでしょ。

【コーディネーター】

- ・すみません。今日はこういう場じゃないので。

【4人目】

- ・市長の発言について、市長が法律違反のことを言うことが、市民に対して事実でない説明をしているということが問題でしょ。

【コーディネーター】

- ・それについても本日のタウンミーティングの開催趣旨ではないと思いますけど。
- ・今のご意見お答えされますか。

【市長】

- ・国会議員年金は、一円も自分のものとはしておりません。全部銀行に別個に入れて、毎年一遍ずつ、一円も引き出しとらんということを記者会見で示しております。これは。それを知らなくていかんわ、あんた。そういうふうには受け取っておりません。
- ・それから、議会報告会については、議会が決められたでそれなんだけど、もしやるんだったら、ほとんど日本中でやられてませんけど、ゼロじゃないけど。やっぱり共産党も含めて非常に公平にやらないんですよ。
- ・だから、これ言うとすぐあれだけど、衆議院の報告会なんてないんです、これは。なぜかといったら、これは議会報告会の議論のときに議員が言いましたけど、それやったときに誰か聴衆が議会と直接関係ないようなこと、例えば消費税をあなたはどうするんだと、名古屋でもありますからね、これ。地下鉄の料金だとか言われたときには、答えられないというふうには言わないかんということになっちゃう。議会だと。
- ・だで、一番議会報告会で一遍やりまして、僕テーブルで聞いたけども、それは公平になってないでいかん、状況は。それだったら、政務調査費持っているから、それからそれぞれ個人でもやれますし、自由に、来た人が喜んでもらえるような議論をしたほうがはるかにいいと。

【4人目】

- ・今はどうだというんだ。全額置いてある。

【コーディネーター】

- ・すみません、もちろん市長の発言に対するご意見ということも大事であるかもしれませんが、今日は、次期総合計画案についてご発言いただく機会ですのでご理解ください。

【4人目】

- ・執行機関が違法な説明をしているんであって。

【市長】

- ・違法ではありませんと言っとる。



【4 人目】

- ・違法じゃないか。

【市長】

- ・そんなこと、あんたに言われたってしょうがないじゃない、それ。

【コーディネーター】

- ・ただ、今日は、総合計画全般について名東区民の方を中心をした市民の方々と、将来の方向性について議論する場なので、今のご発言は大事かもしれませんが、今日の場の趣旨にはちょっとふさわしくないと思いますので（ご発言はお控えください）。

【4 人目】

- ・発言が信憑がないんだから。でしょ。

【市長】

- ・皆さんに聞いてもらって。
- ・全員の皆さんが、河村さんがうそつきであって、全員に近い、出てけ言うなら出てきますよ、私。もしそう言うなら。せっかく皆さんに来てもらっとるんだから。

【4 人目】

- ・私は出てきやあと。市長やめろ。

【市長】

- ・そうなったら、やめるやめんはあまり簡単に言ったらいかんですけども、どう思うか聞かれたらどうですか。

【コーディネーター】

- ・今日は、市長をやめるやめないとか、そういうようなことをやりとりする場ではありません。たまたま市長の挨拶でそういうふうにおっしゃられたというのはありますけれども。
- ・そちらの方、これに関連した話ですか。

【3 人目】

- ・私たちはそういう話を聞きに来たわけではなくて、名東区がいかに活気があって、そういう話を聞きに来ましたので、その話はやめてください。

【コーディネーター】

- ・そうですね。

### 【3 人目】

- ・ お願いします。

### 【コーディネーター】

- ・ 大事な話ではあるんですけど、ちょっとこの場はお控えいただけるとありがたいです。もちろん、また別の機会がどういう形で設けられるか私はちょっと責任持てませんが、別の場でお願いします。申しわけございません。
- ・ それでは、先ほど来幾つかお話が出てきたと思います。テーマ的には異なるものも結構ありましたけども、まず1つ目は、名古屋港の話ですね。名古屋港自体がまだ港湾としての機能が相当強いので、なかなかそういった旅客の部分の弱かったりいろいろするという問題もあると思うんですけど、そういった名古屋港のゆとりだとか安らぎみたいな話をもっと生かしていくべきじゃないかというご発言がありました。それについては、重点戦略にも少し書かれていますので、その趣旨なり中身が、現時点でどのように構想されているのかという話があるならば、コメントいただきたいと思います。
- ・ それから2つ目。図書館の話ですね。図書館の話については2つあったかと思います。1つは、今のアクティブ・ライブラリー構想ですか、そちらのほうで必ずしも図書館の充実につながらないような話になっているのではないかという話と、もう1点は、指定管理への移行についてどういうふうに考えているのかといったようなご質問だったかなと思います。
- ・ 9人目の方のお話も4人目の方のお話も共通する話ですけども、これまでやってきた総合計画に位置づけてやってきたことについて、積み残しの課題はないのか。どこまでできてどこまでできなかったのかということについてはレビューしているのかどうなのかというご質問だったと思います。
- ・ さて、市長さん、どの辺からお答え。

### 【市長】

- ・ それでは、7人目の方から名古屋港のことですが、これも大きなテーマでね。役所的に反論でもないけど、役所的に言うと、神戸とか横浜いうのは港から発達したまちです。名古屋港は、もともとは四日市のほうが強くて、熱田神宮のところが遠浅の海だったんで、港というのはほとんど大したことなかった。それからしゅんせつ技術が発達してできたもんだということで、港町というのはそもそもオリジナルとして。熱田はあります、あれは立派になってというところだと言うんですけど、しかし、7兆円も貿易黒字があるわけですよ名古屋港は。日本ナンバーワンです。第2位は横浜の3兆円。だから、ちゃんと投資せないかんと。
- ・ この間中川運河で、中川運河って名古屋港なんです、あれ。中川運河で魚を44万匹も殺ましてけしからん言っとるんだ本当に。7兆円もあるとこでね。供養やれ言ったら、やった言ってましたけど。
- ・ 具体的に言うと、僕は、水族館なら水族館。名古屋だと、エンターテインメントがどうしても弱いんだわ。イタリア村も失敗したでしょ。だから、あるところに、成功したところにそれを付加するという方法がいいんじゃないかということで。水族館がなかなか、

- 100 万人ありますので。あれは海水ですから、淡水魚の水族館をつくろまいと。200 億か 300 億かけてもええですから。すると世界一になりますわ、淡水魚と海水と両方の。名古屋港水族館に 1 泊来て、中を楽しんどくというのをまずつくれんか言っとるんだけど、出してこえんでいかんわ予算で本当に。今やっとる最中ですけど。いう話ですわ。
- ・財政危機というのがもう染みついてまって、これ。地下鉄と道路がほとんどやりましたので、新しい投資はあらへん、大きいやつは。だから、どんどこどんどこ起債残高減っとなって、歴史的な経済学、よくわからんペケペケ商売に言わせりゃ、大変な優良都市です、名古屋は。だけど、その分お金は使ってないもんで、みんな金に色がついていないことからすると、東京オリンピックの金、名古屋の皆さんの努力した金が行っとるようなもんです、これは。
  - ・ということでございまして、港は本当に重要な起点で、この間見とったけど、河村さんが言っとる理論はここに書いてあるけども、書いたれせんがね、これ。10 ページのところに。名古屋港。居酒屋もようけ潰れてまったし、本当に。わしもたまには行っとった。港町というのは、美空ひばりの港町十三番地じゃないけど、やっぱり非常に情緒がある、そういう味わいのあるところなんです。
  - ・そういうことで言っておりますんで、今日あったこと、うれしかったです。
  - ・それから 8 人目の方の図書館ですわね。図書館も、千種区なんか何でやらんのだね、早う。何やっとるんだ、あれ。
  - ・貧富の差が激しいで。あまり誤解したらいかんですよ。名古屋はものすごい金持ちの都市なんです。何でかといったら、名古屋港って貿易黒字があるしね。だで、起債といいますけど、現金というのはそれほどないですけど、それでも 2,000 億ぐらい持っとります現金を。だから、起債を充てて、銀行なんか使ってくれ使ってくれ、お願いします言って。名古屋が借金返すのやめてくださいと。投資するところあらへんもんでと言われておりますので。
  - ・千種図書館はええけど、一遍鶴舞中央図書館も、俺が言っとるのは、NHK のアーカイブみたいなもの。普通の活字の本もありますけど、画像を見るの楽しいじゃないですか。だから、民放や何かでも、昔のいろんな画像も見えるようにしたらどうだと言っとるんだけど、上がってこんなこれも。どうだこれ。どうだいて、あんたたちにここで言っとてもしょうがないけど。
  - ・それから、9 人目の方のこれまでのやめたもの発表せよということで、やめたものというか、それぞれの政策について評価はみんなしてます。何千項目とありますけど。2,500 ぐらいあったかな、一遍全部ばつと読んだことあるんですけど、これは評価しています。だめだというのはほとんどないです。ほとんど実現されたか着手したかということにはなりますけど、やっぱり皆さんの中に、それを突き抜けていくものは何か感じられんということじゃないですか、名古屋のまちに。
  - ・道路ですか。道路、それと地域の皆さんがよう骨折ってござれるで、そういうこともありがたい段階まで来てますけど、何か突き抜けていくものはねえ。だで、日本で一番行きたくないまちナンバーワンになるわけですよ。と思ひまして。
  - ・途中ではわし言いたいくらいですけど、河村さんが言ったけどペケになったやつ。ようけありますよ、これ。本当に。ここで言うと感じ悪いかわからんけど。

- ・また改めてやりまけど、そういうことですわ。
- ・局をその気にさせなかん。役人がこれは投資しようかというふうにやらんと、その中でも、僕らは直接、名古屋城が特にそのあれですけど。相当リーダーシップを持ってやるのもありますけどね。ということでしょうか。

【コーディネーター】

- ・ちょっと待ってください。

【4人目】

- ・市長は、起債をして事業を拡大した方がよいと。

【コーディネーター】

- ・すみません。発言は挙手していただいて、私が指してからというルールを守っていただかないと困ります。
- ・手短かにであれば、ご発言をどうぞよろしくお願い致します。でも、ルール違反はやめましょうね。

【4人目】

- ・先ほどの発言の中で、名古屋市が起債、銀行が借りてちょ言われていると。市長としては、起債をしてそういった事業を進めたほうがいいと思っていらっしゃるのかどうかを確認したい。

【市長】

- ・それは内容にもよりますし、無駄遣いがいかんのは当たり前のことですよ。それだし、今の名古屋の状況ですと、大体、わしが市長にならしてもらってから多分 4,000 億、全会計だと起債はやっていません。
- ・一般会計で 1,000 億起債を減らしております。
- ・それは、普通の人たちに言わせると大変立派な財政運営だということになります。普通は。しかし、それは今は違うんです。金が余っちゃって。それは貿易でものすごい儲けてるから、名古屋は。だから、金が余っちゃつとる。だから、金利が低いんです。金利が低いうちのたまったお金なんかは、ちゃんと無駄遣いのないように、当たり前だけど、使っていくというのが正しい経済運営だと言つとるんですけど、それは役人が頭を変えないかん本当に。

【4人目】

- ・市長としては、起債をしても価値あるものについては事業を進めていくと。

【市長】

- ・そりゃそうですよ。必要な起債は当然せないかん。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。

【企画調整監】

- ・8人目の方から図書館の問題について触れていただきました。ありがとうございました。
- ・確かに今教育委員会のほうで、アクティブ・ライブラリー構想ということで、名古屋市全体で21図書館ありますけれども、全部同じような図書の配架状況になっておるものですから、これをブロック単位にいたしまして、図書館の中で少しめり張りをつけましょうといったような案を出しているのは事実でございます。タウンミーティングも含めて、図書館につきましてはさまざまなご意見を頂戴しているところでございます。
- ・ただ、1つだけ市民の皆様にも考えていただきたいなと思っているのは、今回のビデオの中でもありますけれども、かなり公共施設を名古屋は大量に持っておりまして、1番が大阪で、2番が神戸で、次が名古屋というような状況になっておりまして、これからこの老朽化の施設をどうするかという更新の問題が極めて重い、財政的には重いような課題になっておりますので。
- ・今名古屋市全体では、名古屋市が持っている施設の10%を縮減しながら充実させていこうという案を一方で持っております。私も悩みまして、これをやるのは全て市民の皆様の税金だもんですから、これをどうやって効果的にやりながら必要な施設を残していくのかといったことが、市長含めて大議論しておるものですから、その中での一環として図書館のことにつきましても提案させていただいておるということだけのご理解を賜りたいと存じます。

【コーディネーター】

- ・よろしかったですかね。

【企画課長】

- ・私からは、総合計画づくりにおいて、過去のいろんな、総合計画に掲げたいろんな事業なり施策なりがどのような成果を上げているのか、そのあたりが市民の皆様はどういった形で公表されているのか、お知らせさせていただいているかということをお尋ねいただいたかと思っておりますので、少しその点をご説明させていただきたいと思っております。
- ・今、現行の2018という計画がありまして、それが今年度までの計画となっております。来年度以降つくるために、新しく、今、次期総合計画ということで皆様にはタウンミーティング等でご意見を頂戴している状況でございますけれども、18の計画の事業の進捗でいきますと、結論で申し上げますと、今のところ、確かな数字として事業の進捗を掲げているのは、昨年度までの状況でこの間9月に議会のほうに報告させていただいておりますけれども、事業進捗が5カ年のうちの4カ年、昨年度までの実績で申しますと、全体の467事業というのが計画に掲載しておりますけれども、そのおおよそ9割が順調な成果を上げているという状況でございます。
- ・残りの1割程度はやや、進捗が8割を切ったり5割を切ったりという事業の実施状況というところでいきますと、まだ満たないというのが1割程度。40から50近いですけど

も、そういう事業が一部まだ進捗が少し悪いというものがございます。

- ・ただ、今年度の進捗もしておりますので、この辺は条例に基づきまして毎年度、総合計画ですので、計画に掲げた進捗を毎年度議会のほうにまずはお諮りして、決算のところ審議をいただいて、お認めいただくという制度でやっておりまして、今年度も、最新のものを先ほど申し上げました 4 カ年目の決算ということでご報告させていただいております。
- ・今私が申しておりますのは、こういう冊子を、毎年度ですけれどもつくらせていただきまして、ホームページのほうに掲げさせていただいておりますので、報告としてはそのように市民の皆様にはさせていただいている状況でございます。
- ・それ以外に、なかなか進捗がいかない事業というのも私ども、今回、総合計画の中間案を策定するに当たりまして、そういったところを当然踏まえるとともに、昨年、市民の方 2 万人の方を無作為抽出ということでアンケートもとらせていただきまして、今の名古屋市にとってどういった都市像ですとかどういった事業が必要だとか、その重要性ですとか満足度みたいなものをとらせていただきました。
- ・その中で、いろいろ率直に市民の皆様からもデータをいただきまして、今私どもが捉えましたのは、重要度として、食の安全ですとか医療ですとか交通安全ですとかさまざまな皆様の評価がございましたけれども、大まかに申し上げますと、その中でも、市民の皆様の重要度、施策とか事業で重要度が高いとおっしゃっているのは、やはり福祉、子育て、防災とか交通安全ですね、そういったことのニーズがかなり高うございました。
- ・それをあわせて、魅力の部分ですね。名古屋市の都市魅力、そういったところについてもかなり皆様の意識が高く、なおかつ今言った部分、特に防災の部分、魅力発信の部分、そのあたりが満足度も低いというふうにデータとかご意見をいただきましたので。
- ・私ども、今回中間案を掲げさせていただいております一つの根拠といたしましては、そういったところを強化していく必要があるかということで、重点戦略ということで、今の魅力づくりの話ですと、戦略 4 ということでやらせていただいておりますし、防災とか交通安全というのは戦略の 2 とか 3 とかいうところを重点的にやっていく必要があるということで、過去の、これまでの、今までの事業の実績と皆様の昨年の時点ですけどもそういう評価をいただいたものに基づいて中間案ということで、今後の名古屋にずっとつなげていこうという、そういった考えでやらせていただいております。
- ・それともう 1 点、魅力づくりの話で、港の盛り上げというのも、先ほど市長からもお答えさせていただいておりますけども、今回中間案の、今皆様のお手元にある冊子には、概要版で申しわけなかったんですけども、詳しく書いていない部分がありましたけれど、13 ページのところに、都市の魅力が都市像 5 ということでございますけれど、そこに、各都市像のところに施策が 45 番まであるんですけども、個々の施策というもので、これは個々の、もう少し都市像の中の詳しい分野ですね、掲げています。
- ・そこに港、35 番ですね。例えば、港・水辺の魅力向上をはかるですとか、歴史・文化をしっかりと魅力をはかっていく、スポーツを生かしてまちづくりを進める、そういったことをいろいろ、先ほどのデータに基づいて今後も施策を展開していこうと掲げております。
- ・そこからもっと詳しく少し申し上げますと、港あたりのエリアは産業港ということもあ

りますけれども、盛り上げという意味でも、私ども確かに意識はございまして、観光文化交流局というところで中心にやっておりますけれども、今の名古屋港のエリアを、堀川も中川運河も当然水辺、水回りですので、そのエリア全体を魅力軸ということで、まちづくり・ものづくり魅力軸と称しておりますけれども、一つのそのエリアを盛り上げることを積極的にはかるということ、今私どもは掲げようとしております。

- ・さまざまにいろんな、金城ふ頭もガーデンふ頭も今現在、これまでもですけども、企業ですとか関係団体とか地元の方のご協力をいただきながら、さまざま魅力づくり、魅力のイベントというのは日々やらせていただいていると思いますけども、今後も、そこを盛り上げていくというのが、今の戦略の4の今後の重点的な取り組みということでさせていただきたいと思っておりますので、お答えになっているかどうかあれですけども、港というのもそういったことで今後とも盛り上げていきたいというふうに考えております。

#### 【コーディネーター】

- ・そうこうしているうちに、時間も随分すぎてきました。最初は皆様方もなかなかエンジンかかってなかったみたいだったんですけど、時間のほうも押してきておりますが、最後お一人ぐらいはご発言いただけるかと。できるだけ簡潔にお願いします。
- ・マイクをこちらにお願いします。これで最後にさせていただきます。すみません。

#### 【10 人目（名東区）】

- ・今日、何か途中で半分ぐらい、話がずれたような話ばかりやってましたので、時間がないと言われても、本題にいけないような会議なんかはきちっと進行をやってほしい。
- ・私どもは何しに時間を割いて来ているかということ。個人攻撃の話はもってのほかだ、まずこれを言いたい。
- ・それと、まちづくりの方針とか目指す都市像とかいろんな課題が多い中で、何のために今日は市長が出てきとる。そのために、いろいろ皆さんで考える会でしょこれは。私は、今日は言わんつもりだったけど、でも、今、最後のほうに防災とか交通安全とかいろんな課題、魅力だの、名古屋港の問題は私も前も思ってたけど、いろんなことが出てきました。
- ・防災についてちょっとお尋ねしたい。
- ・私も学区あずかってますので、最終的に防災となると学校が拠点になりますよね。教育委員会の管轄ですね。ここがハードルが高い。本当に高い。昨今ずっとこれ、少子化でどんどん生徒数減って、でも、名東区は2校、1,000人を超えるところが2つあります。この問題も全然解決していません。もうぎゅうぎゅう詰めのプレハブか何かで勉強しとるような、こんな環境をいつまでほかっておくかしらんけど。この間一遍やりましたけれど、その後の返事が何もないし、いろんなことはやってみえると思いますけど、これだけ子どもが宝だと言いながら、何の手当てもしないような市の政策で、先ほどから市長が金がいくらでもあると、使えるだけ使えというような話をしていますけど、もっと中身のあることをやっていただきたい。
- ・まず、緊急のこれ解決することじゃないかね。学校ぎゅうぎゅう詰めで、勉強できるよ

うな施設じゃないと思いますよ、名東学区と西山学区。それに伴って中学がマンモス。先ほどもありましたでしょ。合唱ができない、豊田へ行くと。豊田の施設はすばらしい。厚生年金会館、池下のその跡地を大マンションにしておいて、今ごろああだこうだ言っても始まらんですよ、これ。なぜもっともっと、市長が結構言っとしても、役人さんが動かんというから、市長対役人、何千人職員さんがみえるんですか、市長。名古屋市の職員さんは。

【市長】

・2万6,000。

【10人目】

・2万6,000人を敵に回して勝てる訳ないですよ。もうちょっとうまいこと使ってもらわな。市長が敵に回すでいかん。

【市長】

・教員が1万。教員入れると3万人。

【10人目】

- ・そうか、教員もいますね。全部が敵ですよあなたの。そこをもうちょっとうまいこと言いながら、もうちょっとうまいこと部下を使ってもらえんかなと思ひまして。
- ・ただ、話がずれた。学校の敷地内が結構今、余っているとは言いませんけど、それなりに有効活用できるような状況になっていると思いますので、防災の拠点として一番大事な場所ですので、もう少し地域の学区あたりが使いやすい、使い勝手ができるような形をとっていただけないでしょうか。
- ・1つの例が、私はもう3~4年前からずっと教育委員会にもお願いしていても、学区でお金出して倉庫をつくらせても、倉庫をつくらせないんです。小さなこんなブロックのような倉庫を5つ6つ積み重ねるのがいいと。このほうが危険だよと言っても、大きいのはだめですと言いましたよ、はっきりと。
- ・だから、その基準もどこにあるのかわからない。これだけ、今、もう明日来るかわからないという防災に関しては特に、学校さんにはもっと協力していただいて。空き教室も山ほどあるんですから、このときに学区でお金出して備品そろえたい、いろんなことを、備蓄をやりたいと言っても、どこにもできないです。倉庫すらできない。公園でやったらいろんな規則がうるさいとか、許可がちょっともおりません。そこら辺を、一番防災の拠点になる小中学校をもう少し有効活用できる体制づくりをしていただきたい。
- ・せっかくだからこれ、答えもいただきたい、また後日で結構ですので。前向きに取り組んでいただかないと、地域でいざとなったときに、あなたたちやりなさいと言われても、何もできませんよ。蓄えも何もありません。勝手なこと言って、3日間の備蓄品がいつの間にか1週間になっていますけど、住民にやれと言ったって無理です。それなりのできる環境づくりを少し考えていただかないと。今は学校の敷地で十分できる余裕があると思いますので、そこら辺だけまた後日、何とかいい返事をいただけたらありがたいな



と思います。

- ・以上です。

【市長】

- ・これは実は大問題なんで。学校施設というのは、日本最大の隠し財産だと言われております。それ言うのでも結構勇気が要るんですよ。私は別に関係ないで言っとるんですよ。例えば、保育園だとかをこの中につくればええわけですよ。それから、子ども食堂ってみんな努力されてますけど、小学校には給食室があるわけですよ。それ言うと、どうのこうのと言うわけですよ、文部省がどうのこうの言って。
- ・一応学校施設の予算は市長ですけど、学校施設は教育委員会と一応なっとることを屁理屈にしておりますけど、こんなもったいない話はないですね、本当のこと言って。防災も。
- ・だで、一遍プロジェクトチームをつくるように、一遍まず。ただ、よっぽど皆さんの強い押しが要りますよ。もう必ず学校は教育委員会で、市長がやることだないと、こうなるんですよ。だから、それはやっぱり突き破ってかなかな、もったいないで本当に。
- ・保育園なんか特にそうです。小学校の中につくれば、全員入れます。そのかわり、自分の行きたい保育園へは行けれんようになりますね、これ。学区制と同じようになる。それも考え方の一つということでございますので。
- ・それと、西山小学校とどこだったあれは、名東小学校かね。何で早くつくらんのだ。あんだけいっぱいになっとって。お金なんか、小学校は要りませんよ本当に。全額起債プラス補助金でできるはずですよ。だろ。

【6人目】

- ・敷地がないです。

【市長】

- ・そういうことになるんだろうけど。

【6人目】

- ・建築条例を変えないと無理です。

【市長】

- ・建築条例ちゅうと、高さを上へ積むということ。ほんなら、それやるよりしようがないわな。あそこのものすごいっぱいだもんだで。

【6人目】

- ・毎回、教育委員会にお願いしています。

【市長】

- ・ほんで何もペケかね。何でペケになるかな、ほんなもん。

【企画調整監】

- ・全市的な課題にしましょう。

【市長】

- ・全市的な課題にしろ言っとるけど、全市的な課題にするとわけわからんようになってまうもんで、個別で、やっぱりこれだけはきちっとやるというのはやらなあかんですわ。

【6人目】

- ・これは都市計画の問題。大型集合住宅の許可をする時から問題は発生します。

【市長】

- ・ほんでも、小学校はある程度高層になったって悪いことは何にもないですからね、これは。と思いますけど。
- ・名東小学校もそうかね、敷地。敷地がやっぱりないですか。名東も。

【6人目】

- ・名東は1,200、西山は1,300。

【コーディネーター】

- ・全国的にも有数の。

【市長】

- ・有数の。西山が一番有名ですけど。

【コーディネーター】

- ・そうですね。

【市長】

- ・わかりました。

【6人目】

- ・過密過ぎ。

【市長】

- ・過密。つくりゃあええなあ。なかったら、上にするよりしようがないじゃないですか、そんなもの。何の問題もないと思うけど、わし。

【6人目】

- ・とりあえず今は、結局1,328と言いましたけど、隣の千種区に55名、牧の原に37名、

あと3クラスですから、完全にパンクするんです。

【市長】

- ・区域外通学をわざとしてもらったようなもんだと。
- ・しかし、教育委員会、言ってこないかんわな、だったら。これ、必死になって、ほんで、都市計画がどういうもんか知らんけど、改めりゃいいじゃないですか、そんなの。自分たちのつくった条例で、誰のためにあるかそんな条例は。

【コーディネーター】

- ・建物を建てる時の問題もあって、都市計画や都市開発の課題にも及びますので、調整監が言われたように、全市的な課題として受けとめていくということしかないかもしれませんね。
- ・多分学区の方がよくわかっておられると思いますが、この問題は一朝一夕にはいかないと思います。多分、校舎を増改築する、敷地を拡大することも難しい。学区を越えて調整していくという方法も限界があります。

【市長】

- ・そんなもん、しかし、盛り場では容積率の緩和ってやっとなじゃない、いつも盛り場では。何で。

【6人目】

- ・それは、住民の壁というのがものすごい大きい。市長がおっしゃるほど簡単ではないですね。

【市長】

- ・それって日陰になるということ。

【6人目】

- ・いろいろあると思います。

【市長】

- ・しかし、何かようわからんですな。そこら辺から上がってこうへんでいかんけど。

【コーディネーター】

- ・市役所の中では、教育委員会と市長部局が協働しなくてはならないですし、また、地元も含めて総合的横断的に考えていかなくてはならない課題です。多分保護者の方にもいろいろ意見があるのも事を難しくしていると思います。

【6人目】

- ・これは、警察でも指摘されていますし。できないとどうするんだと。

- ・今の現状、そのままにしておいてはだめです。

【市長】

- ・容積率の緩和、よう言ってかないんじゃないの。
- ・盛り場ありますわね。今やってますわね。名古屋駅の近所とか栄も、あれ、容積率緩和してどえらい高いのつくる。何で子どもだったらいかんかということですよ。大抵そういう緩和の一般的なルールがないということで、住宅都市局がよう言わなんのじゃないですか、国に。

【コーディネーター】

- ・それと、あとはいろいろ課題があると思います。高層にすると周辺の住環境に与える影響も問題になりますし、建てかえ工事の期間は大勢いる児童をどうするのかということも課題になります。そのような複雑な課題があって中々進まない状況があることは地域でも多分いろいろ十分に理解されていると思います。

【6人目】

- ・市長が言うんでえいやあとはできません。大変難しい問題ですから、住民の意識の問題もありますし。

【コーディネーター】

- ・ただ、やっぱり様々な部署や地域、保護者や地域住民などがスクラム組みながらやっていかなくては解決できない課題です。

【市長】

- ・住民の皆さんのご意向は重要だけど、子どもはナンバーワンですよやっぱり。あらゆる選択の中の。どうせ死ぬんだで、わしも70だし。やっぱ子どもさんのことを大事におかんような政治、政治というか行政ってめちゃくちゃですよ、そんなものだと思いますよ、わし。
- ・早速一遍問題にしますわ、それ。知っとったけど、上がってこえんでええわええでなあってまっとったんだ。特に、名東のことはあまり知らない、西山は有名ですから。

【コーディネーター】

- ・時間オーバーして申しわけございません。
- ・よろしいですかね。
- ・幾つかコメントをいただきました。
- ・時間に限りがございますので、これでご発言の時間はおしまいにさせていただきます。限られた時間の中、活発なご意見、最初のうちは皆さんお控えになられたような感じもありましたけども、いろいろな意見が出てきました。名東区にまつわる問題も出てまいりました。それから、名古屋市全体として解決しなくちゃいけない問題も出てまいりました。中間案をさらに練り上げていく段階では、今日出てきた課題認識の中で、最終的

にどういう形になるかはわかりませんが、組み込まれて検討されていくのではないかなと思います。

- ・最後、区長さんと市長さんのほうから、今日のタウンミーティング全般についてのご感想をご発言いただきたいと思います。
- ・区長からお願いします。

#### 【区長】

- ・1時間半ぐらいにわたりまして貴重なご意見、いろいろ頂戴しましてありがとうございました。
- ・タウンミーティングということで、市の総合計画に対する意見ということもございましたけれども、区にかかわる課題もたくさんご意見いただきました。これからの区政運営、いろいろ参考にさせていただきたいと思いますし、全てが解決できるとは思いませんが、一つ一つ取り組んでまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。
- ・どうもありがとうございました。

#### 【市長】

- ・ありがとうございました。
- ・名古屋市全体のこと、福祉が重要ですけど、やっぱ僕の一番はどえりゃあおもしろいと。文化といいますか、市民として楽しめると、やっぱり人生を。そういうところが非常に、今の名古屋は大変重要な起点でないかと思っております。
- ・名東区の具体的な話もようけ聞きましたので、これ、区長も入れて、わしもちろんと言うことはちゃんといます、これで。全部できるわけではないもんで、河村さん好きな子もおるとは思いますけど、しっかりやります。
- ・いずれにしても、ありがとうございました。サンキューベリーマッチ。

#### 【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございます。
- ・最後になりますけど、私コーディネーターのほうから一言だけお詫びと、それからちょっとコメントさせていただければと思います。
- ・進行の状況がよろしくなくて、最後、お叱りを受けましたけども、大変失礼いたしました。それにもかかわらず、いろいろ積極的にご意見いただきまして、それから、次期総合計画は、市がやる計画であるのは間違いない話なのですが、当然ながら、今日のお話にもありましたように、学区の問題、それから防災のまちづくりなどは、既に地域の方が主体になってやられておられるし、これからもそうしていくことが大切であるともいえます。そうした地域の主体的な活動に対して行政がどうかかわっていくかという事が大事になってきます。
- ・先ほどの福祉施設の問題もそうですよね。地区の中に福祉施設が入り込んできたときに、ちょっと軋轢が生じるかもしれない。でも、民間事業者と地域住民、そして市が協働しながらいいものにしていけるということが大切です。地域のことは地域の方で考えるという気概を今日は名東区の方々から頂戴しました。

- ・したがって、この計画も当然ながら推進の段階では市も一生懸命やられると思います。それと同時に、これまでどおり、またはこれまで以上に市と区、それから地区の住民の方々がスクラム組んで、それから地区の住民の方々だけでなく、民間事業者とか企業さんもスクラム組みながら計画が実現されていくといいなと思っています。
- ・大規模校の話は私がコーディネーターとして関わらせていただいた教育委員会の実施したタウンミーティングのときにも重要な課題の一つで出されたことを記憶しております。非常に難しい課題でありますけども、先ほど市長のコメントにもありましたように、子どもというのは宝でございます。これからどんどん高齢者が増えていく時代でありますから、なおさら子どもを大切に、子ども・子育て世代にとっても住みやすい名古屋を目指していかなくてはならないというのは、今回の都市像の中でも強くうたわれておりますので、それを、名東区発で具現化されることを期待しております。
- ・進行状況があまりよろしくなくて皆さんにご迷惑をおかけして、本当に申しわけございませんでした。
- ・どうもありがとうございました。

(以上)